



大空出版 30 年史

株式会社大空の出版部としてスタート

1996年11月 株式会社大空「出版部」設立に向け準備を始める。
株式会社大空の「大空」は俳人・尾崎放哉句集『大空』（たいくう）より命名。

【主な仕事】

毎日新聞社『毎日グラフ・アミューズ』、『PC倶楽部』、『サンデー毎日』、毎日企画サービス『くらしのガイド』（タブロイド判の月刊新聞）、日本医療企画『CLスマイル』、東京ニュース通信社『B.L.T』、英知出版『ギャンブル宝典』、KADOKAWA『横浜ウォーカー』、本田技研工業・交通安全学会会報誌、ぶんか社『加藤一子のバカダイエット』（単行本）



日本図書センター刊



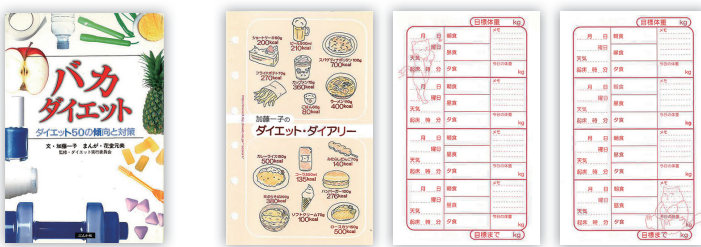
1996年12月25日号『毎日グラフ・アミューズ』特集：「課長病」の静かな恐怖



1998年7月号『B.L.T』連載：Trend review「ワールドカップグッズ」



1998年6月号『ギャンブル宝典』連載：実録・ネットギャンブラー



1998年9月『加藤一子のバカダイエット』（単行本）発売と同時にHP開設。『加藤一子のバカダイエット』HPの失敗談コンテンツ「バカ・ランキング」が話題に、各週刊誌が取り上げる。同時にHPで会員向け『ダイエット手帳』発行



1998年11月15日号『サンデー毎日』特集：「ダイエット失敗実例集」

※『PC倶楽部』でニュース面・特集面を担当、『加藤一子のバカダイエット』HPコンテンツ作成を経てデジタル編集に特化していく。

※1998年3月、KADOKAWA『横浜ウォーカー』が創刊され創刊4号(5月)海特集(巻頭46ページ)を担当。以降特集面の制作を担当することになる。



1999年3月25日『第71回大会選抜高校野球大会号』（『サンデー毎日』臨時増刊号）横浜高校から西武ライオンズへ入団した直後の松坂大輔インタビュー ※2000年4月発行『ライオンズファンブック』取材・編集へ

大空出版として独立

大空出版は編集プロダクションとしてスタートするが、編プロにとどまらず出版社(版元)になることを目指す。(株)大空より屋号「大空」をいただき大空出版に。尾崎放哉の自由律にちなみ既成概念にとらわれず自由な発想で紙媒体やデジタル媒体や動画等、あらゆるメディアを自在に操る総合出版社を目指し、「メディアミックス」を合言葉に邁進する。社内ルールを作らず社は社訓を持たず、社員を規則で縛らない。ルールがあるとすれば社長、専務、部長などの役職で人を呼ばない。自らが壁を作らず、誰もが同じ目線で会話をする社風を理想とする。

【設立時の主な仕事】

毎日新聞社『毎日グラフ・アミューズ』、『パソコンを始めよう』ムック、『サンデー毎日』、『ライオンズファンブック』ムック、日本医療企画『CLスマイル』、東京ニュース通信社『B.L.T』、KADOKAWA『横浜ウォーカー』、『東京ウォーカー』、『シュシュ』、本田技研工業・交通安全学会会報誌

- 2000年 4月 有限会社大空出版設立 資本金740万円(本社・葛飾区亀有) 代表取締役・加藤玄一 専務取締役・角野淳(社員2名)
- 2000年 5月 『パソコンを始めよう』(毎日ムック)が20万部を超えるベストセラーに。以降『エクセルを始めよう』『デジタルカメラを始めよう』など年3冊のペースで制作
- 2001年 5月 携帯電話による情報配信サービス『日刊ウォーカー』(ウォーカープラス)でWeb事業に着手。本社を千代田区神田神保町から新宿区西早稲田に移転
- 2002年 4月 本田技研工業のiモード向けコンテンツ『Hondaドリーム』サイトでレース速報配信開始
- 11月 本田技研工業Webサイト『Hondaモータースポーツ』制作をスタート
- 2003年 10月 『築地まるかじり2004』(毎日ムック)取材・執筆。TVやAmazonで話題に
- 2005年 2月 本社を新宿区西早稲田から千代田区神田錦町へ移転
- 4月 増資により資本金1400万円、株式会社に改組。登記上の本社を葛飾区から千代田区に移す
- 7月 『まだある。～今でも買える懐かしの昭和カタログ～食品編』(大空ポケット文庫)出版。オンライン販売で展開直後書店で直販。シリーズ化し文具学校編、生活雑貨編、駄菓子編等9作刊行。シリーズ累計30万部超
- 2006年 8月 日本出版販売と契約。9月には東京出版販売と契約。版元に
- 2008年 2月 2回目の増資、資本金1900万円
- 6月 『風天 渥美清のうた』(森英介著)出版。8月の渥美清十三回忌、映画『男はつらいよ』40周年記念イベントの一環に
- 9月 リーマン・ブラザーズ・ホールディングス経営破綻(リーマンショック)
- 2009年 11月 デザイン会社yahhosを100%出資子会社化
- 12月 『風天 渥美清のうた』の著者・森英介氏逝去、享年70歳
- 2010年 1月 東急ハンズ新宿店で『まだある。』フェア開催
- 4月 ライフ・ケア編集部を(株)メディカル・リーフとして独立(70%出資子会社)
- 2011年 3月 東日本大震災、福島第一原子力発電所事故
- 7月 プライバシーマーク(第21000612号)取得



2005年7月24日号『サンデー毎日』サンデーらいぶらりい



2006年3月7日号『DIME』Bookで『まだある。』が紹介される



2008年9月7日北海道新聞(朝刊)書評欄で吉田類(エッセイスト)が『風天』を紹介する。朝日新聞「天声人語」、中日新聞「中日春秋」等コラム欄でも続々紹介

- 2012年 2月 インドネシア視察(ジャカルタ、バンドン)
6月 インドネシア人初の社員(Webデザイナー) ディッキー・イワン入社
- 2013年 1月 3回目の増資、資本金2000万円
2月 社会福祉法人恩賜財団済生会本部HP制作スタート
3月 本社を千代田区神田錦町から神田神保町へ移転
10月 『万葉集があばく 捏造された天皇・天智』(渡辺康則著上・下巻)出版、上下巻ともにたちまち重版
- 2014年 9月 ジャカルタBINUS大学とインターンシップ契約締結
- 2015年 1月 『相撲ファン』出版。スージョ(相撲女子)ブーム
10月 インドネシアにジャカルタ支局(駐在員事務所)開設
- 2017年 4月 『地方創生の切り札LBT』(拓殖大学教授・徳永達己著)出版
9月 『沖昌之のにゃんこ相撲カレンダー』発売
- 2018年 3月 出版健康保険組合に加入
5月 静岡市葵区に静岡支局開設
- 2019年 4月 『沖昌之の写真絵本 にゃんこ相撲』出版。写真絵本をシリーズ化
6月 「大空レーシング」発足。N1参戦を目指す
9月 大空出版設立20周年記念イベント第1回「日本写真絵本大賞」公募スタート、金賞賞金100万円他
- 2020年 1月 インドネシアの登録支援機関として認可を受ける
3月 新型コロナウイルスにより緊急事態宣言発令
6月 『中村征夫の写真絵本 サンゴと生きる』出版
8月 『テレワークの「落とし穴」とその対策』(小林剛著)出版
9月 第1回「日本写真絵本大賞」授賞式(京王プラザホテル)
12月 『矢野誠人の写真絵本 うりぼうと母さん』(金賞受賞)出版。たちまち重版
- 2021年 10月 インドネシア学生向けサイト「JAPAN VIEW」スタート、その後送出し機関の学生向けサイトに
- 2022年 7月 『奇跡の童謡』(山内喜美子著)出版。「夕焼小焼」作曲100周年記念
- 2023年 11月 インドネシアのダルマプルサダ大学、アル・アザル大学、ナシオナル大学とインターンシップ契約締結
- 2024年 9月 『風天 渥美清のうた』8刷(3万5千部を突破)ロングセラーに
10月 「有料職業紹介事業許可証」取得
- 2025年 1月 インドネシア特定技能人材紹介、「大空グローバル・ワーク・プラス」始動
6月 東京都江戸川区の介護施設にインドネシア人材2名紹介(その後計15名)
7月 第6回「日本写真絵本大賞」をもってコンテスト終了
『杉山アナのアンチ巨人、大鵬、卵焼き』出版。たちまち重版出来
9月 加藤玄一が代表取締役会長に、安田洋明が取締役社長に就任
- 2026年 3月 読売新聞社主催第30回読売出版広告賞で『まだある。』広告が特別賞受賞
『生きることから、すべては始まる』俳優 サヘル・ローズ書下ろしエッセイ出版
6月 代表取締役を安田洋明に譲渡し加藤玄一退職へ



ジャカルタの駐在員事務所



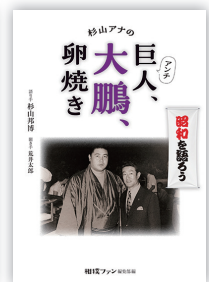
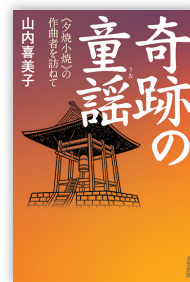
『相撲ファン』のネーミングは監修者・荒井太郎氏による



小山美姫さんがアドバイザーに



「日本写真絵本大賞」創設。写真絵本普及のためフリーペーパー『PPB』発刊



第30回読売出版広告賞(25年度)で『まだある。』サンヤツ広告が特別賞を受賞